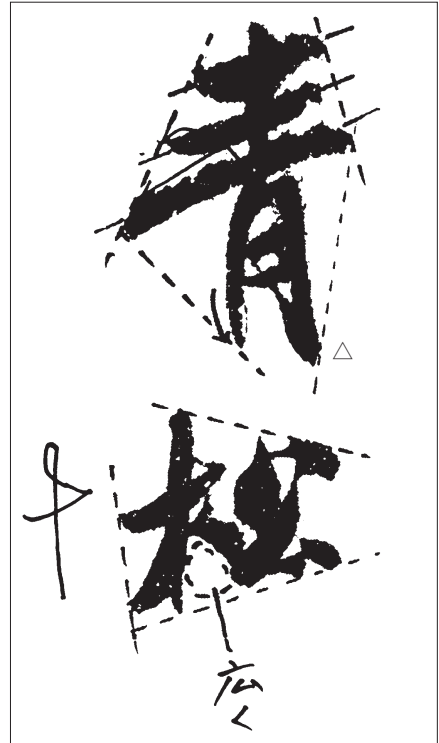


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

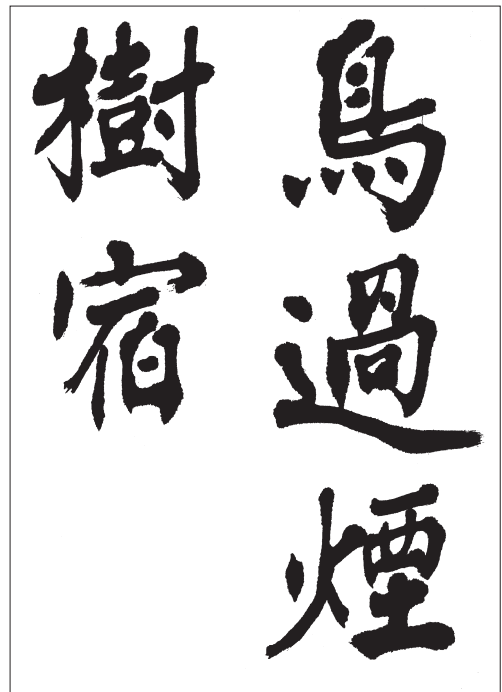
蜀素帖



- 1、字句「青松」
- 2、形式「半紙タテ使用。中央に「青松」と臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観「米芾は北宋の仁宗・皇祐三年（一〇五一）に生まれ、徽宗・大觀元年（一一〇七）に没している。湖北省襄陽（現在の襄樊）の人。初めは名を「黻」としていたが、四十一歳以降は「芾」の字を書いている。字は元章。襄陽漫仕、鹿門居士などと号している。米芾は北宋八代目の皇帝徽宗（一一〇八～一一三五）に召されて、書画博士となる。崇徳五年（一一〇六）江蘇省邳県の東にある淮陽軍の知事となって赴任し、その翌年、その地で卒している。享年五十七歳であった。
- 4、各字のポイント
 - 青 横三画共に強い右肩上がり。四画目の横画は、三画目の横画を受けるように入筆。四画目から連続で五画目へ。末筆で少し内に入れる。六画目の縦画は右に開く。△で筆を突き七画目に連続。
 - 松 二画目の縦画は一画目からの連続細線を図示したようにし、末筆は筆を引き上げる。木偏の縦画は左に寄せるのが多いが中央に書いている。三画目の左払いの縦画に寄せ、四画目の点は大きく離して打つ。五画目の点は太く、重く。六画目は五画目より稍上にし七画目に連続。七画目も肉厚に。八画目の点でおさめる。

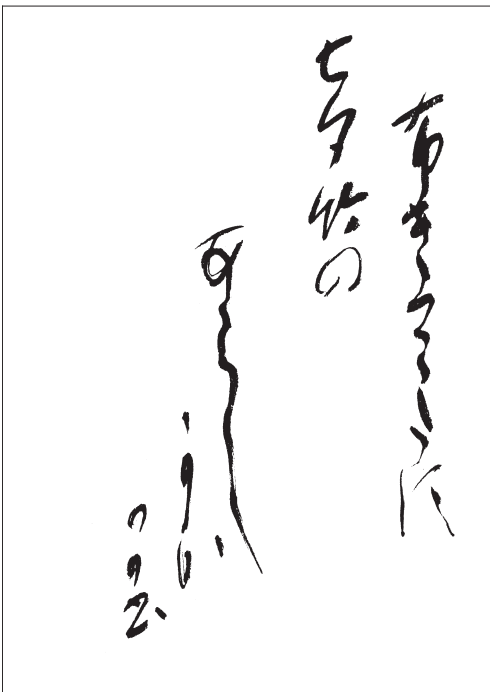
半紙課題(予告) (七月二十二日締切)

平岡華雪先生書 鳥は煙樹を過ぎて宿り(孟浩然)



訳：鳥はけむった樹を探してねぐらとし。

平岡華雪先生書 吹き乱す七夕竹の風かな(虚子)



元澤柏雪遺墨展

第十三回柏門会書道展（併催）

高橋香樹

元澤柏雪先生が亡くなられてから
早や二年が経過しようとしています。

三月十八日（金）から二十一日
（月）まで、文京シビックセンター
一階アートサロンにて、元澤柏雪遺
墨展、第十三回柏門会書道展（併催）
が開催されました。

先生と初めてお会いしたのは昇級
試験の審査でしたが、先生のお孫さ
んが私と同じ高校出身ということで、
親しくお話をさせて戴きました。そ
の後、雅印を注文して下さり、先生
のお宅へお伺いする機会を得ました。
以来、三ヶ月に一度程の割合でお訪
ねし、色々なお話をお聞きいたしま
した。その度に、先生はお酒、おつ
まみを用意されており、毎回三時間
余りもの長時間、お酒の飲めない私
は、少しずつ飲めるよう訓練して戴
きました。

遺墨展では、七十四歳から九十五
歳までに書かれた十八点を展示。元
澤先生というと、芭蕉の「奥の細道」

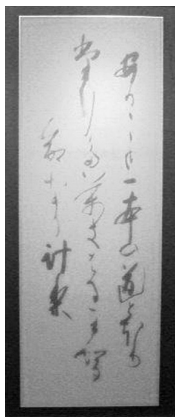
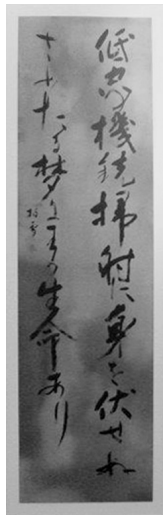
鴨長明の「方丈記」をはじめとした
長文を極細字で書かれるとの印象が
ありますが、遺墨展では、先生の違っ
た一面を観る思いがしました。中で
も自詠の短歌が半数の九点。先生の
面目躍如たるどころ。

出品作「低空の機銃掃射に身を伏
せぬさめたる夢にわが生命あり」。
戦争体験のお話も多々。「私は書道
をやっていたお蔭で生き延びられた。」
とのこと。「あかあかと一本の道と
ほりたりたまきは我が命なりけり」
（齋藤茂吉歌）。先生は八十八歳で法

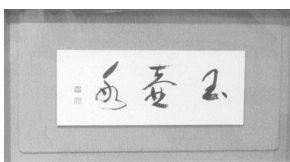
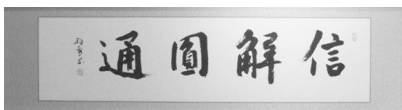
政大学院大学院修士課程を開学以来最
高齢で卒業されたと新聞に掲載され
驚きました。あれだけ色々なお話を
伺っていたのに大学院のことは一度
もお聞きしたことがありませんでし
た。大学院では齋藤茂吉の研究をさ
れ、茂吉ゆかりの地へ旅行もされて
いました。「穂高ねの頂さむし北空
に雪に光れる槍の秀のみゆ」と「白
川の合掌つくりの高窓に灯はともり
けり霧ふかきなか」は、お弟子さん
達と高山・白川郷に旅した折の歌か。
先生は晩年まで意欲的に旅行されて
いました。

先生は、かな作家
ということになって
いますが、今回の遺
墨展には漢字が五点
出品されています。

扁額「信解圓通」は、
鍾繇・王羲之の小楷



が基調となっています。やはり扁額
「玉霊氷」は、軽いタッチの草書作。
良寛詩は臨書作ですが、良寛の字形
はもちろん、清く澄んだ筆線は良寛
そのもの。元澤柏雪先生の書の幅の
広さが十二分に感じられる見事な展
覧会でした。



昇試審査総評

野田 麗夕

春季昇級試験は、半年に一度の推薦合格、昇段のチャンスです。日々努力を重ねられた作品を前に、緊張の中、慎重に審査させて頂きました。誤字・墨量・線質・落款・全体のバランス等に配慮し、拝見致しました。条幅審査は漢字部・準推薦からですが、実力者揃いの練度の高い作品が多く、紙一重の拮抗したものでした。しかし、思い込みでしょうか、「興」が「興」になっていて、間違え易い文字ではありますが、この一字により、合格レベルに達していないが残念な結果に終わってしまったことは、惜しまれてなりません。お手本を過信せず、不明瞭な部分は字典をひいて下さい。消化不良にならないよう注意することが肝要です。月例の条幅課題の出品、古典への取り組みにより、次回へ向けて、更なる充実の作品を期待いたします。

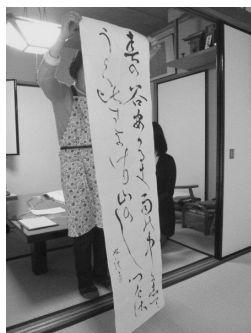


条幅審査

加藤 洞雪

花冷えのする三月三十日、春季昇級試験の審査が行なわれました。初めての事なので先輩の先生方の間に

入って、大変な緊張の中で始めました。一点一点を所定の時間の中で判断します。昇試に向かって懸命に取り組まれた作品に対して、審査は真剣にしかも慎重に採点に取り組みました。全体の流れ、バランス、誤字、脱字、墨色はどうか等、掲げられた作品に対し、私は活き活きとした書、落ち付いた感じの書、余白の生きている書を重点に採点しました。漢字、仮名では参考手本に片寄り過ぎていると思われる作品が多いのを感じました。辞書を調べ自分らしい字を書かれていないように思います。随意では自分の得意とするものを書かれたようで、活き活きとして迫力のある練度ある作品が多くありました。毎日毎日の書に対する取り組みが必ず良い結果に結び付くものと確信します。



半紙審査



向山朴花先生



武井春凌先生



野田麗夕先生



加藤洞雪先生



高橋香樹会長



青松勁挺姿 凌霄恥屈盤 種々出枝葉 牽 (連上松端)
青松勁挺の姿 凌霄屈盤を恥づ 種々に枝葉を出し 牽 (連して松の端に上る)

青い松のすつくとしなやかな姿、空を凌いで曲がりくねるのを恥じるように。さまざまな形に枝や葉を出して、まとわり(連な)て梢まで続いている。

※随意部参考(半紙・条幅)としてもご活用下さい。抜粋可。
随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

一字書 (六月二十二日締切)

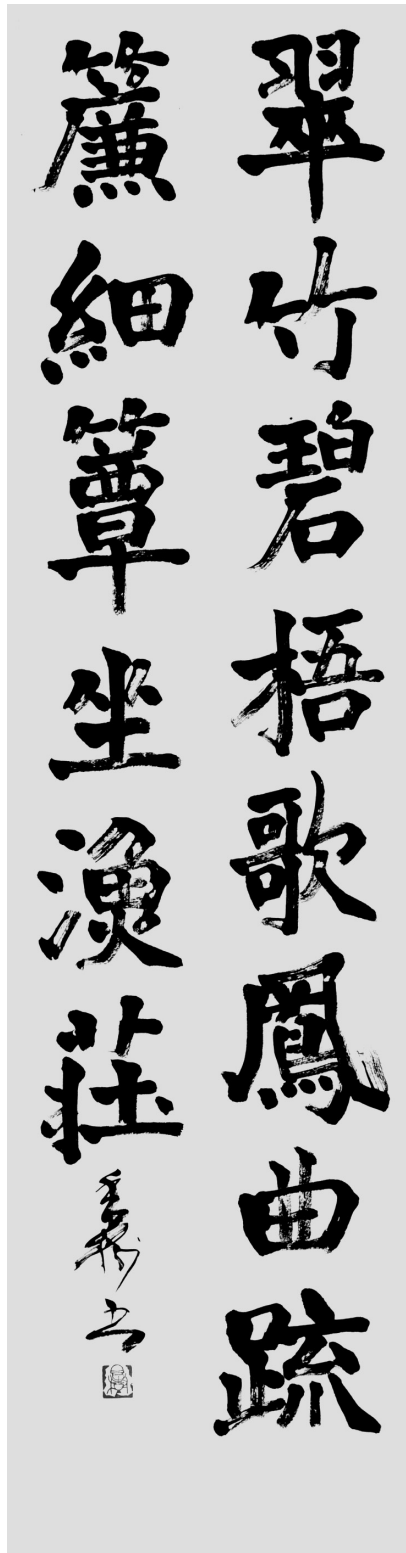
課題

星

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ・ヨコ自由
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

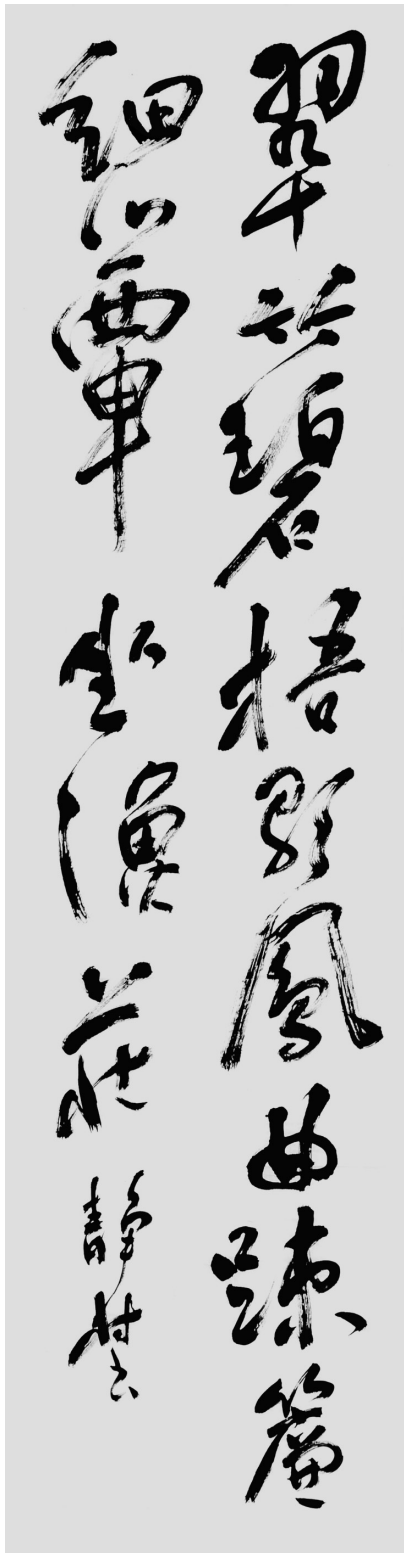
A
高橋香樹会長書

翠竹碧梧歌鳳曲 疎簾細簟坐漁莊 (釋元本詩)
翠竹碧梧鳳曲を歌い、疎簾細簟漁莊に坐す。



B
鈴木静村先生書

今回は楷書作にしようと思いましたが思うような作とならず、今、一番気楽に書けるこのような書となりました。「鳳」は古典ではこの形が一般的。「疎」は「疎・疏・疏」とありますが、今回は「疏」を。「漁」でも列火を「火」にする形あり。「莊」は「土」に点を打つ形も多い。書く時には字典にて確認して載きたい。



今回の主調は、脈絡の基礎を身につけてほしいこと。その第一は二字連綿。竹碧・歌鳳・疎簾・細簟・坐漁を連綿群として連筆してあります。初段階の方はこの二字五群を取り出して、事前練習することから入って下さい。簾 簾の草書は「兼」の崩し方を習得しておく、今後応用がきく。 簟 竹冠は簾とちがい三点、タテ画の突き出しは古典に多い。 鳳 鳳の鳴き声が聞こえる。まばらに編んだすだれのかかる漁師の家で、私は目の細かいむしろに坐っている。

予告 (七月二十二日締切)

掃石共看山色坐

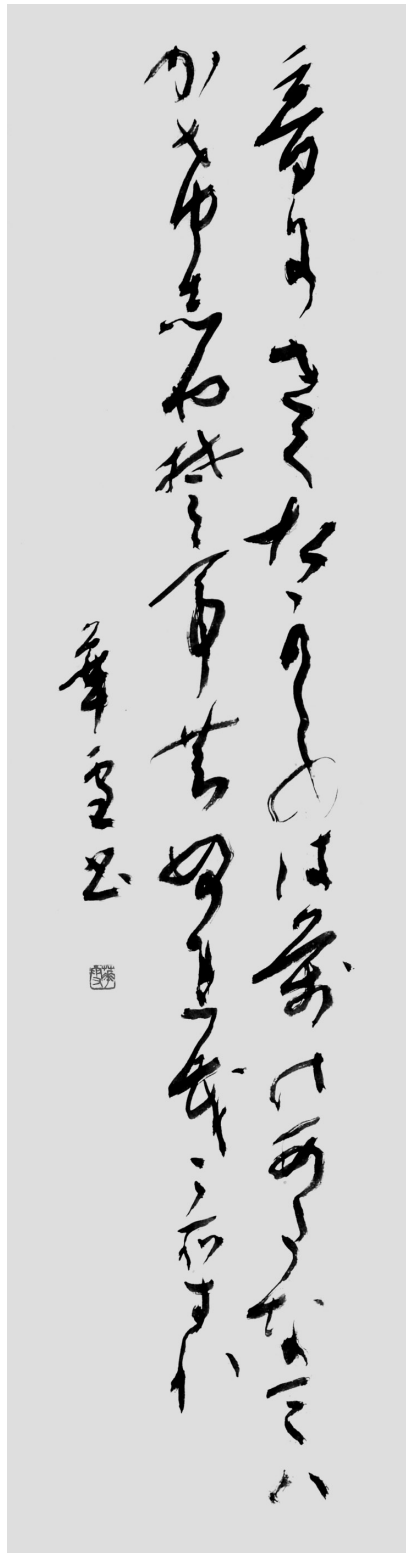
枕書同聽雨聲眠 (許斐)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

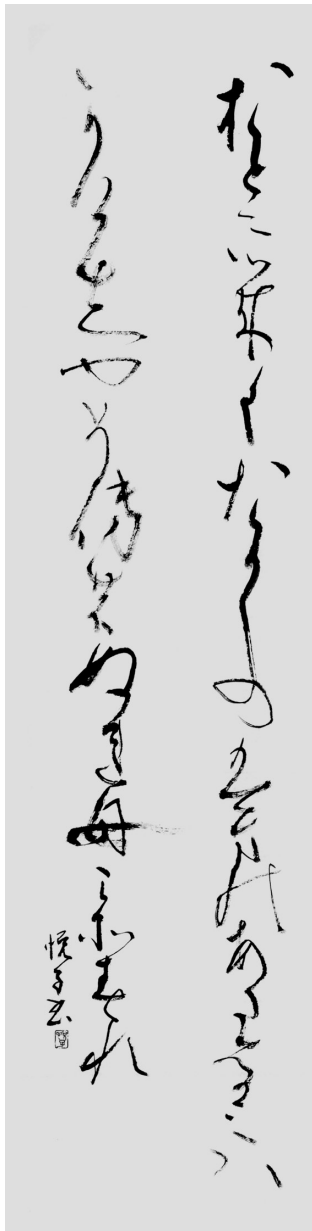
音に聞く高師の浜のあだ波はかけじや袖のぬれもこそすれ(祐子内親王家紀伊 百人一首)
音ねきき久くた可かしのは萬ま能のあ多たな三み八はか希け志しや楚そ亭てい農のぬ連れ茂もこそすれ



B

長野悦子先生書

於おと二に幾き久くた可かしの盤は万ま能のあ多たな三み八はか介け志しや曾そ傳てん農のぬ連れ母もこそすれ



祐子内親王家紀伊
(ゆうしなないしんのうけ
のきい。一宮紀伊 いち
のみやきい 十一世紀後
半)
平安時代院政期の女流歌
人で、後朱雀天皇の皇女
祐子内親王の女房。女房
三十六歌仙の一人。兄で
ある紀伊守藤原重経(素
意法師)が紀伊守であっ
たので紀伊と呼ばれまし
た。

学び方

歌意：評判の高い高師の浜の寄せてはかえす波で袖を濡らさないように。(移り気だと、噂の高いあなたに思
いをかけて私の袖を濡らさないように)
基本的な二行書にしました。墨の潤濁の対比を意識し一行目と二行目の照応にポイントを置きました。「の」が三回あ
るので「能」「農」「の」と変えています。
以前、静村先生が解説されている①～⑦は絶対必要です。面倒ですが、大事なことです。
①読みながら味わうこと。②指書で筆意を味わうこと。③えんぴつかボールペンで臨書してみることを繰り返
します。④部分的に、「背臨」してみます。⑤筆を執って、部分練習を繰り返し行ないます。⑥部分練習で、「背
臨」をします。⑦部分を拡大して練習します。

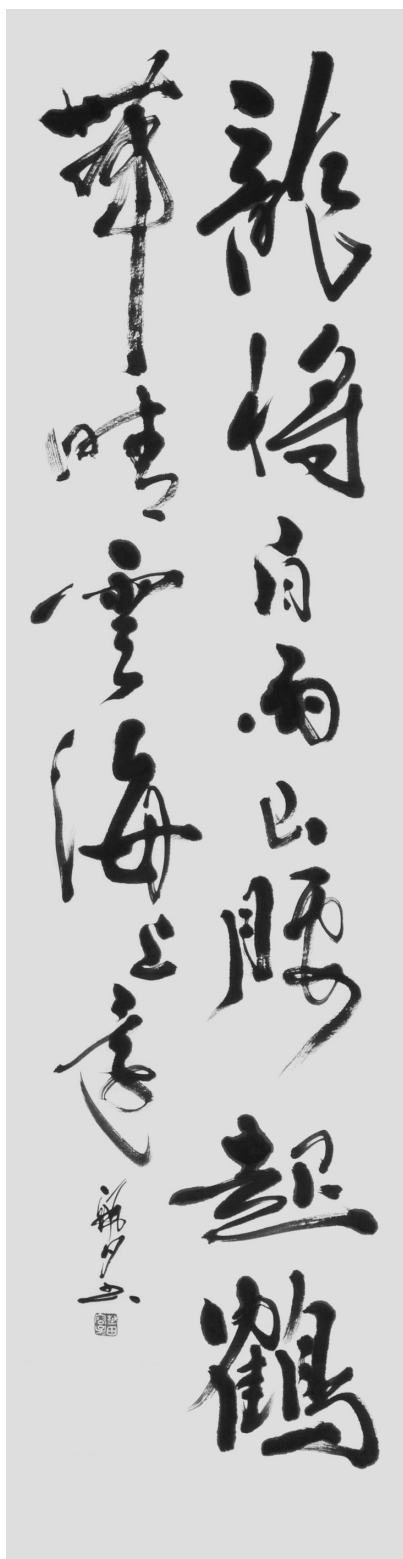
予告 (七月二十二日締切)

鶺鴒の峰飛びこえて鳴きゆけば夏の夜渡る月ぞ隠る、(後撰和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

野田麗夕先生書

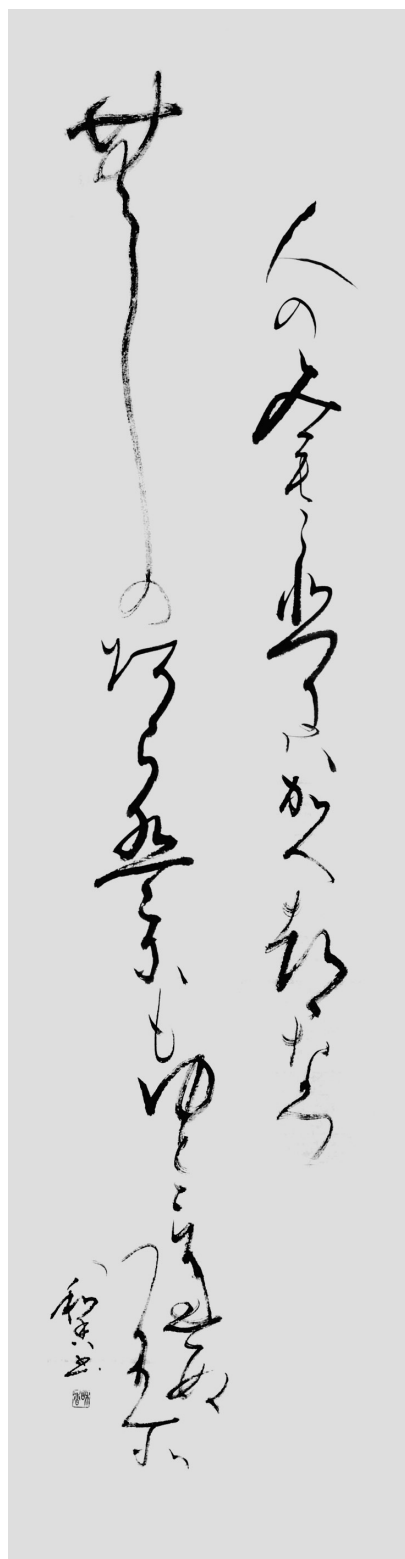
龍將白雨山腰起 鶴帶晴雲海上還（夢觀）
 龍は白雨を將て山腰に起り、鶴は晴雲を帯びて海上に還る。



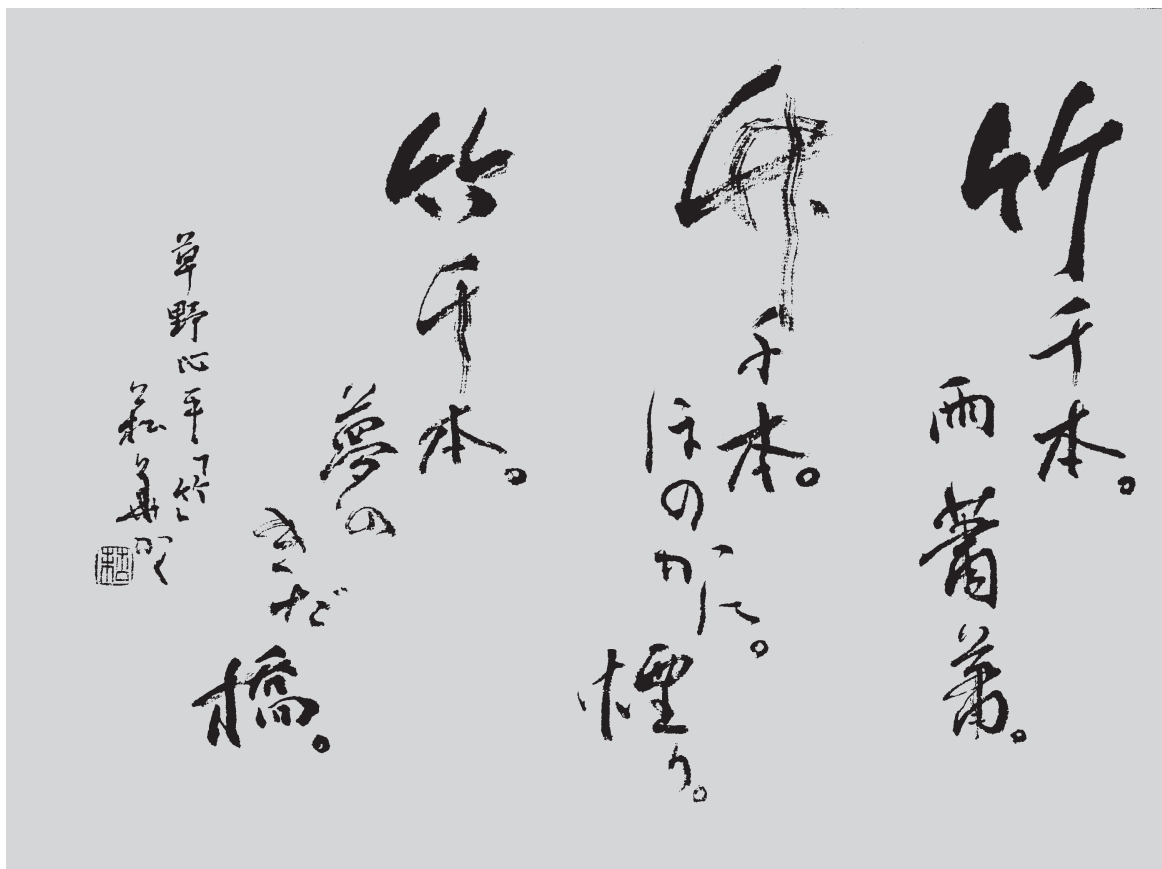
訳：竜は夕立を山の中腹に起すが、鶴は心地よく晴れた雲をおびて海の上にかえりくる。

小林和香先生書

人の身も恋にはかへつ夏虫のあらはに燃ゆと見えぬばかりぞ（後拾遺和歌集 和泉式部）
 人のみ毛こ悲尔八加へ都なつ無し阿ら盤尔もゆと三盈ぬ八可利所



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）



小暮 菘華 先生 書

竹千本。雨蕭蕭。

竹千本。ほのかに。煙り。

竹千本。夢のきだ橋。

(草野心平)

文末のすべての句点「。」は、作者の意図
なので、大切に扱う。

三つのフレーズが同一の言葉で始まるので
同じ表現にならないように注意して下さい。

草野心平(詩人)

(一九〇三年～一九八八年)

福島県いわき市に生れる。

広東嶺南大学(現・中山大学)出身。

「蛙の詩人」といわれる程、蛙をテーマにし
て詩を書いた。又「富士山」をテーマにした
詩も多く多作な詩人で数多くの詩集を刊行。
前衛的な詩を試みた。殆どの詩において文末
に句点を用い、読点はほとんど使われていな
い。

一九五〇年 「蛙の詩」で第一回読売文学賞

一九八三年 文化功労賞

一九八七年 文化勲章受章

日本藝術院会員

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

心遠くして地寛閑たり。(魏野)
 訳…心は世俗から遠ざかって住居の
 ここちも静閑である。

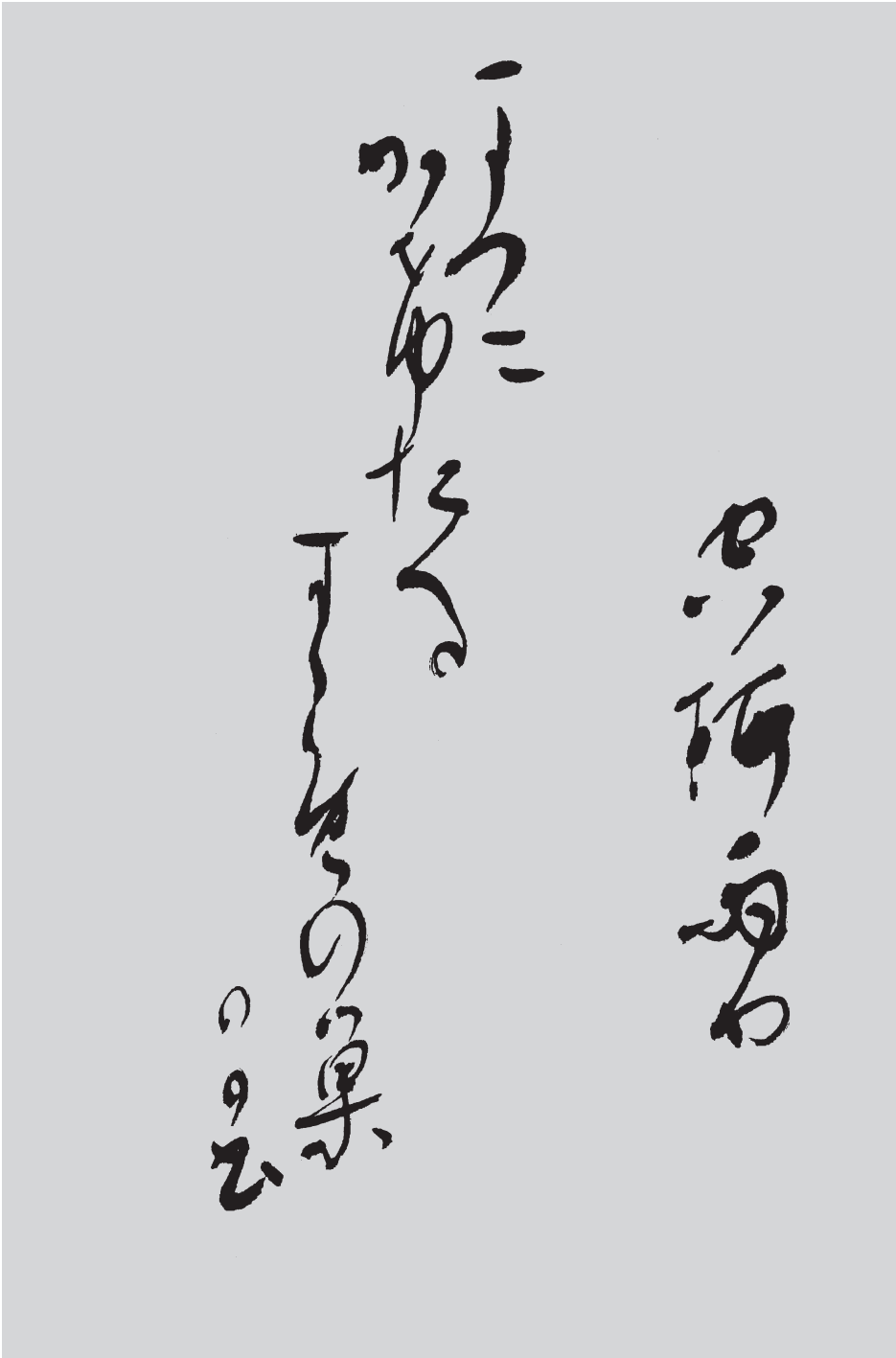
〈形ではなく、用筆〉〈字配りに工夫〉
 五文字、それぞれに「はね、ほらい」があります。筆の割れ、かすれ等、表われ方は
 気にすることはありません。要は、バネを使っている用筆です。形に捉われることなく、
 「心・地」は平たい概形、「寛・閑」画数多く縦長形。大小字配作の取り組みとして、研
 究深めに期待。さらに落款でどう締めるか――。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

空梅雨や松にかけたる雀の巣(虚吼)
空梅雨や万つ二か希たるす、免の巣



〈行のうねりと行間について〉
行の照応は、かなの場合、特に表現上のポイントの一つです。二、三、四行のうねりと、行間の違いに注目しながら書き進めて下さい。なお、「空梅雨や」が孤立しないように、書調上、用筆上のつながりに留意が肝要です。

梅

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

川上香蓉先生書

住彼白雲峰（良寛）
彼の白雲の峰に住むやと。

住彼白雲峯
住彼白雲峯
住彼白雲峯

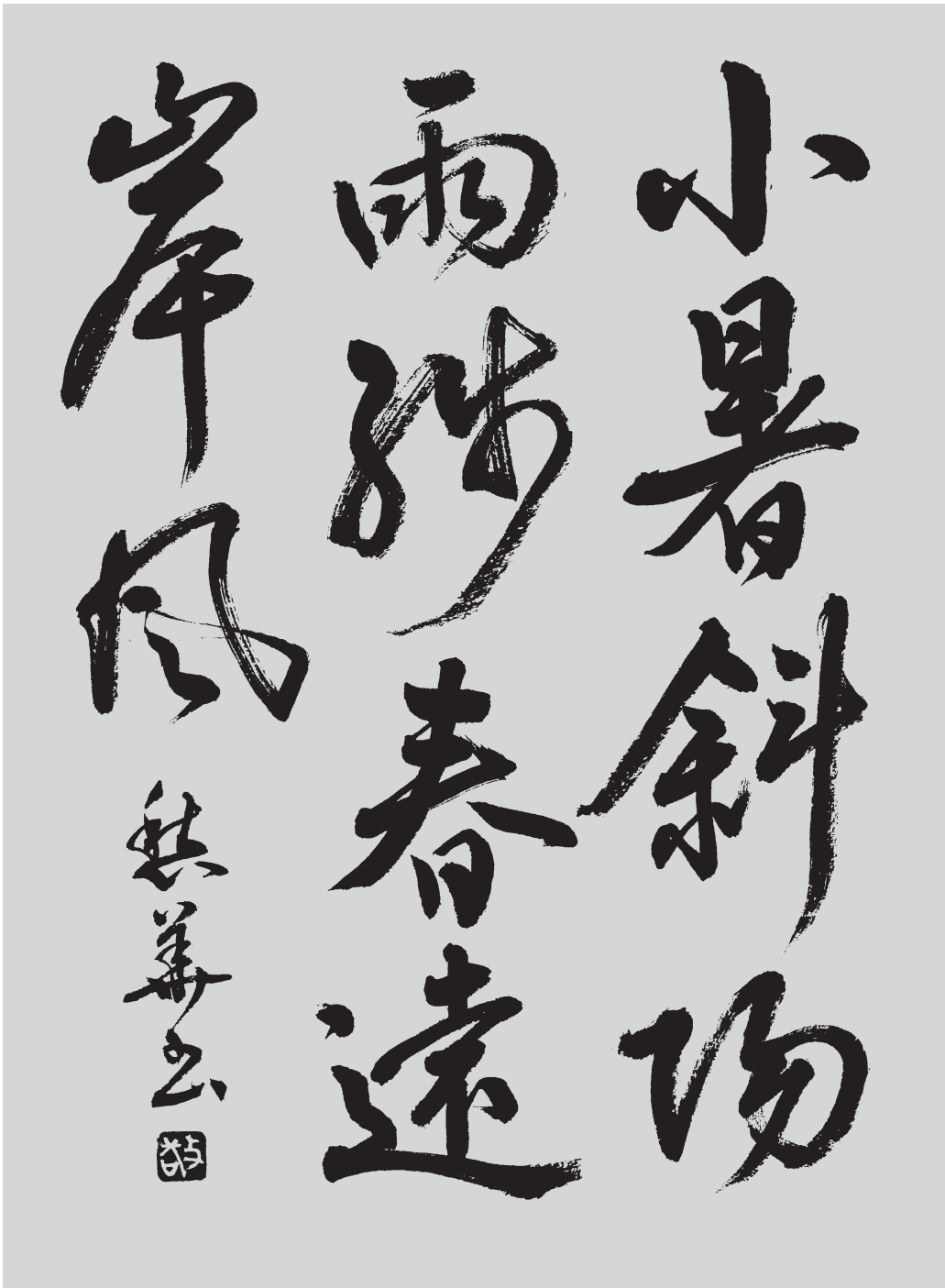
川上香蓉
書

訳：（どうして）白雲去来の峰に住むかと。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

石田愁華先生書

小暑斜陽雨 殘春遠岸風（胡天游）
小暑斜陽の雨、殘春遠岸の風。



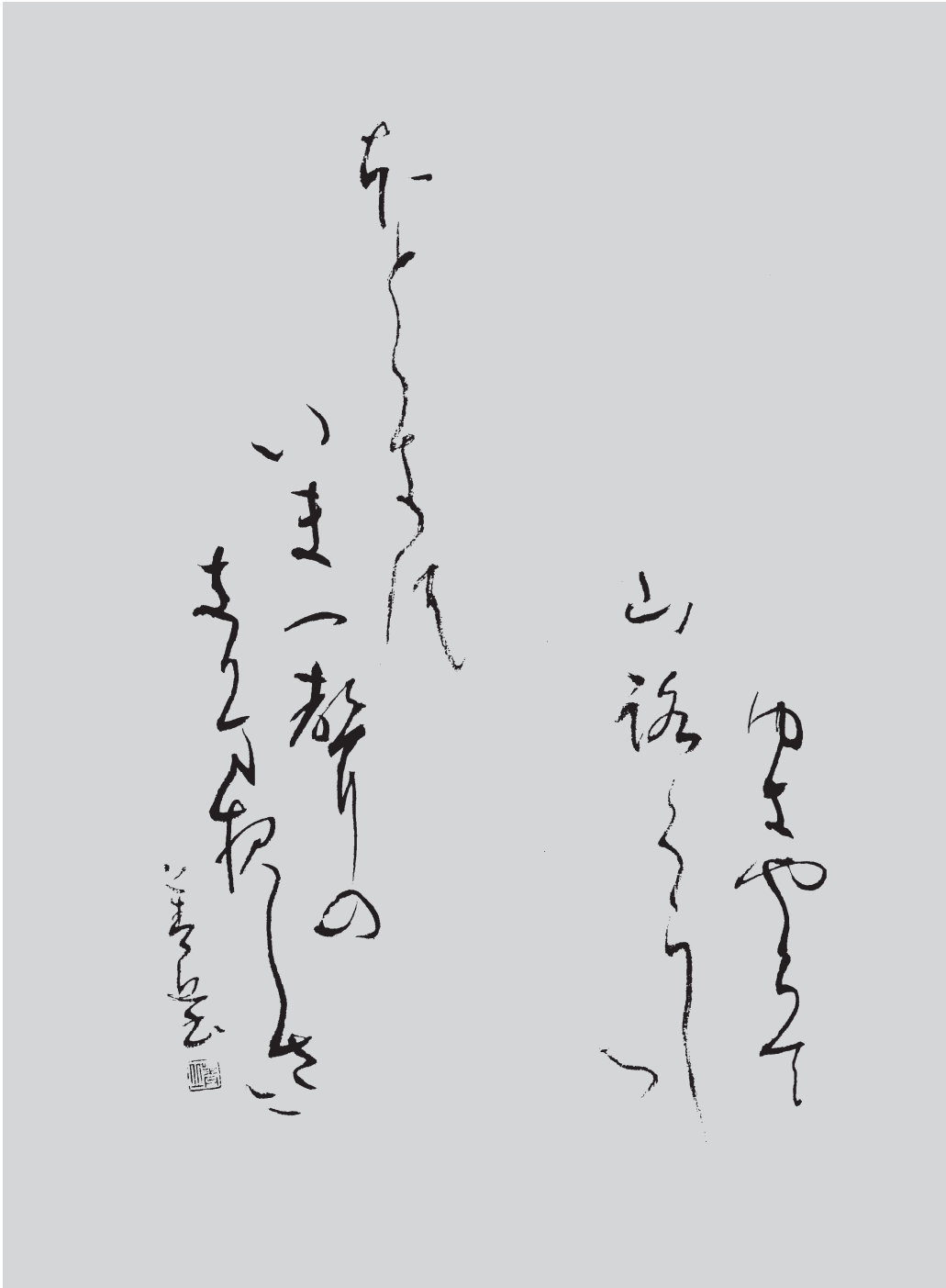
訳：すこしばかりの暑気が夕ぐれの雨を催したが、残春の今は遠岸に風がそよよと吹いている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

北島菁丘先生書

ゆきやらで山路くらしつ郭公いま一声の間かまほしさに（拾遺和歌集 源公忠）
ゆきやら天山路久らし川本と、支須いま一聲の支可万報しさに



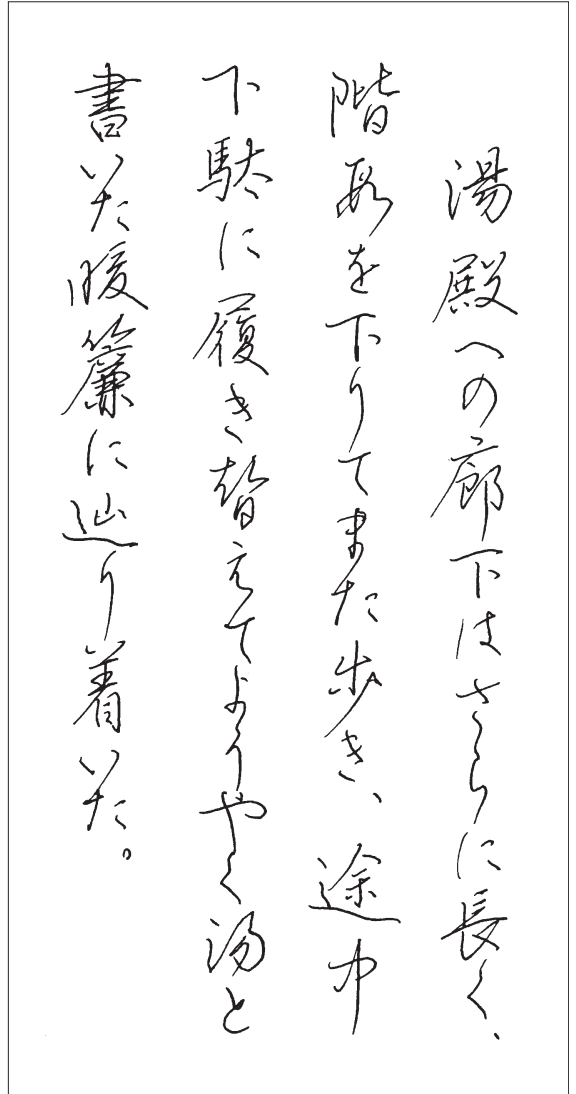
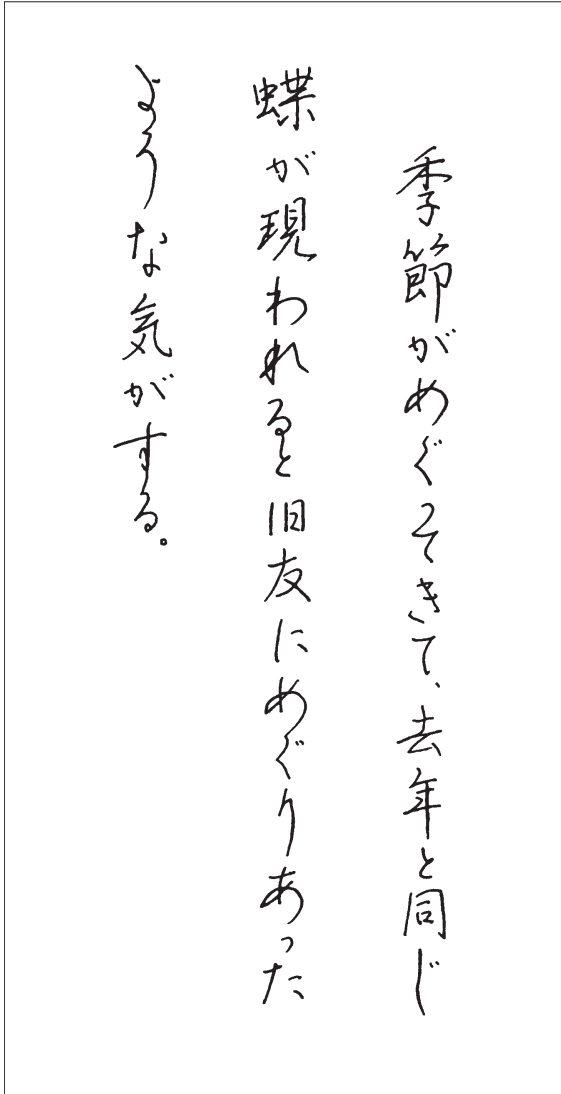
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

湯殿への廊下はさらに長く、階段を下りてまた歩き、途中下駄に履き替えてようやく湯と書いた暖簾に辿り着いた。

「飛水」 高樹のぶ子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円
- (6) 昇試規定は裏表紙を参照の事。

課題2 (初段階以下)

季節がめぐってきて、去年と同じ蝶が現われると旧友にめぐりあったような気がする。

「蝶の小径」 三木 卓